

ことをこのむ
ことをおこす
ことのおこり
こともなげに
ことをわけて話す
こととしだいによっては

ものを言う
ものを書く
ものを食べる
ものが豊富だ
ものもしない
ものの数にも入らない

その通りだ
上記の通り
いつもの通り
ご承知の通り
本物通りの偽物
おっしゃる通りです

鉄は熱いうちに打つ
暗くならないうちに
20分のうちに帰ってくる
朝のうちに洗濯を済ませた
拍手のうちに壇上にあがる
若いうちによく勉強せねばならぬ

波のままに漂う
筆の向くままに書く
足の向くままに歩いた
思いのままにならない
請われるままに署名した
思うままにさせておいた

本が到着次第送金する
満員になり次第締切る
品物が着き次第送金します
都合がつき次第お尋ねします
現金を受け取り次第金を払います
手紙が着き次第すぐに来てください

最新

实用日语语法

初级

邱根成、张鸿成、黄辉 编著



NLIC2970872867

最新

实用日语语法

初级

邱根成、张鸿成、黄辉 编著

上海译文出版社

图书在版编目(CIP)数据

最新实用日语语法. 初级/邱根成, 张鸿成, 黄辉
编著. —上海: 上海译文出版社, 2013. 3

ISBN 978 - 7 - 5327 - 5944 - 6

I. ①最… II. ①邱… ②张… ③黄… III. ①日语-
语法 IV. ①H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 250023 号

本书专有出版版权归本社独家所有
非经本社同意不得转载、摘编或复制

最新实用日语语法(初级)

邱根成 张鸿成 黄辉 编著

上海世纪出版股份有限公司

译文出版社出版

网址: www.yiwen.com.cn

上海世纪出版股份有限公司发行中心发行

200001 上海福建中路 193 号 www.ewen.cc

上海颀辉印刷厂印刷

开本 787×1092 1/16 印张 23.75 字数 548,000

2013 年 3 月第 1 版 2013 年 3 月第 1 次印刷

印数: 0,001—5,000 册

ISBN 978 - 7 - 5327 - 5944 - 6/H · 1054

定价: 40.00 元

如有质量问题, 请与承印厂质量科联系。T: 021 - 57602918

最新实用日语语法概要

随着我国日语教学的发展,不同层次的日语教学对日语教材也提出新的要求。但是纵观迄今为止的各类教材,虽然有了很大的发展,包括种类和数量都有了明显增加。然而作为日语课程中的语法教材,明显表现为不足与陈旧。首先不足表现在种类和数量方面,目前根据教学需要可供选择的教材相当有限;其次陈旧主要指仍然沿用旧教材,语法体系多是传统语法体系的延续,未能反映出目前日语教学的现状。

从目前我国日语教学现状来说,既有不少高层次的研究生教学,更有大量的普通乃至初级层次的教学。从数量与范围的层面来看,后者明显占据优势。尤其是伴随着中日经贸合作的发展,高职高专的日语教育方兴未艾。与此同时,为了满足求职或留学等个人需要,各种面向日语能力考试的学校如雨后春笋。尤其是上海、北京、大连以及广州等大城市,日语教学出现空前的如火如荼局面。

为了尽快提高学生的日语综合能力,掌握日语基本语法至关重要。语法不仅是许多考试中的重要内容,而且事实表明有助于正确理解与运用日语。为了达到迅速掌握日语语法的目的,必须在教材方面进行相应改革。有鉴于此,我根据数年教学状况与实际需要,决定编写合适的实用日语语法教材。因此作为本教材的最大特点,是在传统语法教材的基础上,最大限度同日语教学现状相结合。为了兼顾不同层次学习者的需要,《最新实用日语语法》分为《初级》和《中高级》两本。有关《初级》中各章节的语法解说,建议参照《中高级》中的“本章要点”说明。

两本教材完全基于相同实用语法体系,前者是基础课程,后者是深化课程,这是本教材不同于其他教材的特色之一。其次本教材的特色还在于将传统语法体系,同目前日语实际教学状况有机结合。各章节最大限度地突出了实用,并与综合教材的语法内容相结合。因此本书从实用与结合方面考虑,根据日语精读教材与能力考试的语法点,内容与顺序与传统语法明显不同,基本上由以下九个章节所组成: 1. 综合性论述; 2. 体言与用言; 3. 格助词; 4. 助动词; 5. 连体词、副词、接续词; 6. 副助词; 7. 接续助词; 8. 句子语法改错; 9. 惯用句型。

本书特点是基础内容充实,例句丰富、解释简单扼要,各章节均配有相应的课内练习题。除了普通教材中的基本内容外,作为本书最为突出的特点,一是根据语法内容的分类,增加了句子语法错误的分析解说。主要是考虑到学生在写作练习中,

或在汉日翻译练习中语法错误比较多见。因此在本书的第8章中,重点针对写作中的典型语法错误,通过辅以大量病句解说,使学生在认识错误原因的同时,加深对所学语法的正确理解,从而减少语法错误与提高写作能力。二是书中的第9章收集了大量的基础惯用句型。这些句型不仅出于能力考试的需要,而且同语法知识密切相关。通过例句解说与习题解答的形式,既有助于学生能够课后自学,也能对所学内容进一步消化,从而达到加深理解的目的。

考虑到日语能力考试中的语法试题分量,本书例句选用与句型的解说方面,尤其是在各章节之后的练习题设置方面,尽量同能力考试的相关内容相结合。其中有关形式体言、补助动词以及各种助动词等,都力求加强了与能力考试的结合度。助词中的接续助词与副助词等内容,也无不体现了这方面的刻意追求。本书同日语能力考试等级紧密结合,初级适合于3、4、5级程度,中高级则适合于1、2级程度。因此如果已经具备相应的基础能力,那么也可以直接进入中高级的学习。本书系该教材的初级课程,适合于日语专业低年级学生学习,而且对3、4级能力考试人员来说,也是值得参考的实用语法教材。本书在选编过程中,得到了上海建桥学院的大力支持,在此深表谢意!

2012年12月

目录

第一章 综合性论述—— 001

第二章 体言与用言—— 005

第一节 体言—— 005

(一) 名词—— 005

(二) 代名词—— 005

(三) 数词—— 006

(四) 形式体言—— 009

1. こと—— 009

2. もの—— 011

3. の—— 013

4. ところ—— 013

5. わけ—— 015

6. はず—— 016

7. ため—— 017

8. つもり—— 018

9. ほう—— 019

10. とおり—— 020

11. うえ—— 021

12. うち—— 022

13. もと—— 023

14. かぎり—— 024

15. かわり—— 024

16. しい—— 025

17. くせ—— 026

18. まま—— 026

19. ふり—— 027

课内练习(一)—— 028

第二节 用言—— 030

(一) 动词—— 030

1. 动词性质与功能—— 030

2. 动词的种类与活用—— 030

3. 动词各活用形的用法—— 032

4. 动词的态—— 035

(二) 敬语动词—— 036

1. 敬语动词的种类—— 036

2. 敬语动词的常用形式—— 037

(三) 授受关系的动词—— 038

1. 授受动词—— 039

2. 授受关系的补助动词—— 041

(四) 补助动词—— 041

I 「动词连用形+て」—— 042

II 动词连用形+接尾词—— 051

(五) 其他形式的接尾词—— 059

课内练习(二)—— 063

(六) 形容词—— 072

(七) 形容动词—— 076

课内练习(三)—— 079

第三章 格助词—— 081

1. 格助词性质—— 081

2. 格助词的种类与用法—— 081

2.1 「が」—— 081

2.2 「の」—— 084

2.3 「を」—— 087

2.4 「に」—— 089

2.5 「へ」—— 096

2.6 「と」—— 098

2.7 「から」—— 100

2.8 「より」—— 100

2.9 「で」	102	2.1 「は」	157
课内练习(四)	107	2.2 「も」	158
第四章 助动词	112	2.3 「こそ」	160
1. 助动词的性质和特点	112	2.4 「さえ」	161
2. 助动词的种类与用法	112	2.5 「でも」	163
2.1 使役助动词「せる」「させる」	112	2.6 「だって」	164
2.2 被动、可能、自发、尊敬助动词「れる」「られる」	114	2.7 「なり」	165
2.3 否定助动词「ない」「ぬ(ん)」「ず」	116	2.8 「しか」	165
2.4 愿望助动词「たい」「たがる」	117	2.9 「ほか」	167
2.5 过去、完了助动词「た」	118	2.10 「まで」	167
2.6 断定助动词「だ」「です」	120	2.11 「ばかり」	169
2.7 推量助动词「う」「よう」「まい」「らしい」	122	2.12 「だけ」	171
2.8 比况助动词「ようだ」「みたいだ」	127	2.13 「のみ」	174
2.9 传闻助动词「そうだ」	130	2.14 「きり」	175
2.10 样态助动词「そうだ」	131	2.15 「くらい」	176
课内练习(五)	133	2.16 「ほど」	178
第五章 连体词、副词、接续词	136	2.17 「など」	180
第1节 连体词	136	2.18 「なんか」	181
1. 连体词的定义	136	2.19 「なんて」	182
第2节 副词	137	2.20 「ずつ」	182
2.1 副词的特点	137	2.21 「やら」	183
2.2 副词的分类与用法	137	2.22 「か」	185
第3节 接续词	141	2.23 「とか」	186
课内练习(六)	147	2.24 「って」	187
第六章 副助词	157	课内练习(七)	189
1. 副助词的性质	157	第七章 接续助词	193
2. 副助词的用法	157	1. 接续助词的定义与种类	193
		2. 接续助词的用法	193
		2.1 「て」	193
		2.2 「し」	196
		2.3 「ながら」	197
		2.4 「たり」	198
		2.5 「ば」	199

- 2.6 「と」—— 201
 2.7 「なり」—— 202
 2.8 「や」—— 203
 2.9 「ては」—— 203
 2.10 「ても」—— 204
 2.11 「たって」—— 205
 2.12 「から」—— 205
 2.13 「ので」—— 206
 2.14 「が」—— 207
 2.15 「けれど(も)」—— 208
 2.16 「のに」—— 210
 2.17 「くせに」—— 211
 2.18 「ものの」—— 212
 2.19 「ものを」—— 212
 2.20 「ところが」—— 213
 2.21 「ところで」—— 214
 2.22 「どころか」—— 215

课内练习(八)—— 216

第八章 句子语法改错—— 219

1. 语法错误分析归纳—— 219
2. 错误表现的几种类型—— 219
 - 2.1 助动词类—— 219
 - 2.2 助词类—— 220
 - 2.3 内容搭配—— 221
 - 2.4 修饰与被修饰—— 222
 - 2.5 形式体言与自他动词—— 224

课内练习(九)—— 225

第九章 惯用句型—— 227

课文综合练习—— 347

参考答案—— 362

参考文献—— 369

第一章 综合性论述

1. 日语的基本特征

当今世界存在许多不同的语言,任何一种语言都有其语法体系。日语在单词、句子以及语音等方面,同英语或汉语相比有显著的差异。日语语法就是从具体语言单位入手,对其中的特征用法等进行分析归纳。作为实用日语语法的初级阶段,主要任务是理解与掌握最基本的内容。在学习各个章节内容之前,先简述一下基本语法常识。

同现代汉语的音节数相比,日语中的数量要少得多。音节就是发音的最小单位,在日语中通常用一个假名表示。促音、长音以及拨音属于特殊音,本身不能单独发音或存在,只能附在其他音节之后。现代日语中的音节组成,主要有(1)清音、(2)浊音、(3)半浊音、(4)拗音以及(5)三种特殊音。特殊音指促音、拨音及长音,本身不能单独发音。其中五十音图中的内容,组成日语基本发音字母表。

日语中的文字有四种,即汉字、平假名、片假名以及罗马字。汉字具有表意、表音功能,在日语中有多种读法。首先根据汉字的发音,有音读和训读两种。前者模仿古代汉语读音,而且有一定的规律,发音比较容易掌握。后者根据日本固有发音,涉及面广,较难掌握。日语词汇主要有三种:固有词汇、汉语词汇以及外来语。除了名词、动词以及形容词等词外,固有词汇还包括助词和助动词。汉语词汇有借用古汉语的,也有日本人自己创造的。外来语主要由印欧语音译而成,其中绝大多数来自英语。

2. 语法与词汇

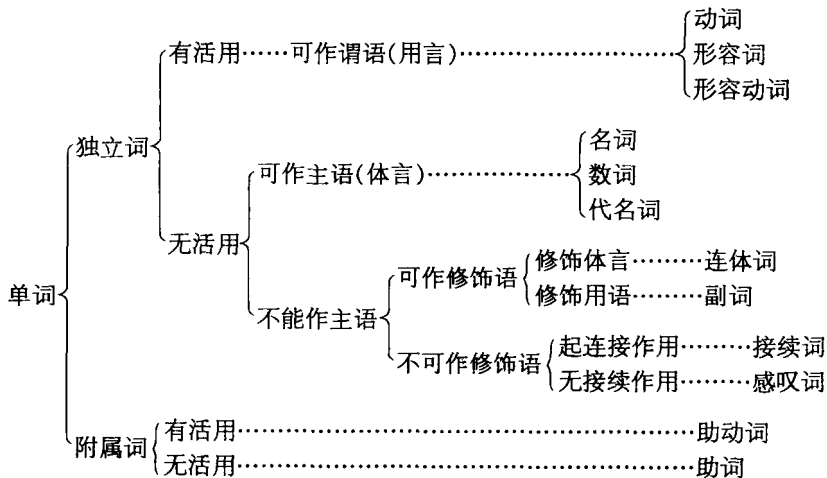
从语言的功能与关系来看,通常文章是由若干句子组成,句子的基本单位则是单词。单词是把句子按意义分解后的最小语言单位,或者说单词是句子里可自由运用的最小单位。日语单词虽然有许多种类,但是按其在句子中的作用功能,基本上可分为独立词和附属词。独立词包括名词、数词、代名词、动词、形容词、形容动词、接续词、副词、连体词以及感叹词。其中动词、形容词、形容动词有词形变化,其余词没有词形变化。附属词不能单独构成句子成分,本身也不具有实质意义,只能附属在独立词后面。附属词包括助词和助动词,助词没有词形变化,助动词大多有词形变化。独立词分成无活用和有活用两种,无活用能作主语的词称为体言,有活用的独立词称为用言。

体言包括名词、数词及代名词,后接助词可作主语、宾语以及定语等。用言包括动词、形容词以及形容动词,可单独作定语或同助动词结合作谓语。不能作主语无活用的词中,有两种词类用作修饰语,另外两种词类不能用作修饰语。前者可以作定语修饰的称为连体词,可以作状语修饰称为副词。后两种属于独立成分,分别是接续词与感叹词。

按照以上传统的分类方法,日语单词参见以下分类一览表,基本上可以分成十二种词类,即(1)名词、(2)数词、(3)代名词、(4)动词、(5)形容词、(6)形容动词、(7)连体词、(8)副词、

(9) 接续词、(10) 感叹词、(11) 助动词、(12) 助词。从日常使用或各种考试中,词汇的重要性因词类而异。助词与助动词极为重要,感叹词则不太受到重视。而且即使在助词内部,终助词虽然数量不少,但是其在语法中的重要性,远不如副助词与接续助词等。因此,从实用性角度出发,本书基本上不涉及这类词。另外有些观点认为形容词中,应该包括(5) 形容词与(6) 形容词。前者(5) 形容词称为“イ形容词”,后者(6)称为“ナ形容词”。考虑到广泛性与辞典认定现状,本书仍然按照传统方式分为两种。

日语单词分类一览表



3. 五十音图与罗马字输入

日语语音结构比较简单,音节数量总共 100 多个。其中主要的就是五十音图,特征是一个假名对应一个音节。罗马字作为日语中的拼音文字,以前主要用于电报或标音等特殊场合。目前在表示地名或公司名时,除了使用汉字或假名外,还附带罗马字表记。这是因为日语中的汉字读音复杂,附带罗马字表记为正确发音提供了方便,尤其是对外国人更是如此。熟悉罗马字的标音法,对尽快掌握日语读音很有帮助。此外,由于近年来家用电脑的普及化,熟悉掌握罗马字拼写法的重要性日益突出。特别是外国人在使用电脑等输入日语文字时,掌握罗马字的输入法较之假名输入法,无疑显得方便与快捷。

(1) 五十音图(五十音图)表

平 假 名	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	い	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

续表

片 假 名	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
	イ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ
	ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
	エ	レ	エ	メ	ヘ	ヌ	テ	セ	ケ	エ
	ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ネ	ト	ソ	コ	オ

(2) 假名与罗马字对应一览表

あ行	あ		い		う		え		お	
	a		i		u		e		o	
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きゅ	きょ		
	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ		
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo		
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しゅ	しょ		
	sa	si	su	se	so	sya	syu	syo		
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じゅ	じょ		
	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo		
た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちゅ	ちょ		
	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ		
	da	di	du	de	do	dya	dyu	dyo		
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にゅ	にょ		
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo		
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひゅ	ひょ		
	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びゅ	びょ		
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo		
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ		
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo		

续表

ま行	ま	み	む	め	も	みや	みゆ	みよ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
や行	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ		
	ya	yu	yo	lya	lyu	lyo		
ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りゅ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
わ行	わ	うい	うえ	を	ん			
	wa	wi	we	wo	nn			

注：① 促音「っ」可以两次输入 n 以外的辅音。

例：itta → いった

② 拨音「ん」全部以“nn”的形式输入。

例：kanni → かんい

③ 小写假名可在按下“x”的同时按下该键。

例：tixekku → チェック

④ 片假名「ヴ」属于特殊音节，不以平假名形式出现。

例：vaiorinn → ヴァイオリン

⑤ 拗长音时，一律尾部输入「う」。

第二章 体言与用言

第一节 体 言

(一) 名 词

名词是体言的一种,用来表示事物的名称。名词在句子中可作主语、定语以及宾语等。名词同助动词「だ」一起,可以构成谓语。日语中名词数量占据绝大多数,除了表达事物名称的名词外,还有表达行为动作状态内容的名词,例如「勉強」「研究」「驚き」等,也可在句子中广泛用作名词。

- ^{かれ}彼の^{けんきゅう}研究^みは^{むす}実を結んだ。/他的研究取得了成果。
- ^{こんど}今度の^{りょこう}旅行^{べんきょう}はいい勉強^{べんきょう}になった。/从这次旅行中学到了知识。
- ^{おどろ}驚^{いろ}きの^う色を浮かべた。/面上现出惊异的神色。
- ^{かれ}彼が^{さんじゅうさい}まだ30歳^{おどろ}とは驚^{おどろ}きだ。/没想到他才三十岁,真令人吃惊。

(二) 代 名 词

代名词是体言的一种,简称为“代词”,代指人或事物、场所、方向。代名词根据语义与作用,分为人称、反身、指示代名词等。「わたし」「あなた」「^{かれ}彼」「^{かのじょ}彼女」等,属于典型的人称代名词。反身代名词有「^{じぶん}自分」、「^{じこ}自己」、「^{じしん}自身」等。指示代词具有体系性,如下所示有近称、中称与远称。

コ类:代指离说话人近的事物或者自己刚才提到的事物。

ソ类:代指离对方近的事物或者对方刚才提到的事物。

ア类:代指离自己和对方都较远的事物或者双方都知道以及刚想起来的事物。

ト类:代指表示疑问和不确定的事物。

代名词作为体言的一种,其用法与名词大致相同,如后加助词作主语与修饰语,可以作独立成分,可以受连体修饰语修饰等。

(1) (人称代名词作主语)

- ^{ことば}わたしは^わ言葉が分らない、^{まいご}迷子になったらどうしよう? /我语言不通,走丢了怎么办呢?

(2) (场所指示代名词作连用修饰语)

○ もう一度^{いちど}そこ^いに行^いってみたい^{おも}と思います。/我想再到那里去看看。

(3) (人称代名词可作主语,场所事物指示代名词可作状语)

○ あなたはどこで、なにを^いしていますか? /你在什么地方做什么工作?

(4) (人称代名词作呼唤语——独立成分)

○ あなた^{きょう}、今日^{かえ}のお帰^{なんじ}りは何時^{なんじ}ですか? /你今天几点回来?

不过在实际语言中,代名词用法发生变化,出现各种转用现象,主要有以下几种情况。

1. 事物指示代词用作人称指示代词,用于同辈以下的关系亲密者之间。

○ これはわたしの^{むすこ}息子^{むすこ}です。/这是我儿子。

2. 方位指示代词用作人称代词,用于尊敬、客气场合,不定称多加接尾词「さん」或「さま」。

○ 失礼^{しつれい}ですが、どちらさまですか? /对不起,你是哪一位?

3. 事物指示代词代指时间。

○ これから^{がくせい}の学生^{がくせい}は、もっと^{がいこくご}外国語^{べんきょう}を勉強^{べんきょう}しなければならない。/今后的学生必须更加努力学习外语。

4. 方位指示代词用作事物指示代词,多用于两个以上事物的选择。

○ そちらより、こちらのほう^かがお買^{どく}い得^{どく}ですよ。/和那个比较,还是买这个合算。

5. 方位指示代词用作场所指示代词。

○ お宅^{たく}は、どちらですか? /您家在哪里?

6. 场所指示代词代指事物、时间。

○ ここ^{だいじ}が大事^{てん}な点^{かんが}だから、よく考^{かんが}えなさい。/这点很重要,请好好想一想。

(三) 数 词

数词是表示事物数目、数量、序数等的词。数词也属于体言,具有和名词相同的语法性质,可以构成主语、宾语、补语等,也可以后续助动词构成谓语。此外,数词可直接作状语。日语中的数词有音读与训读,有基数词、序数词以及助数词等。

1. 基数词

(1) 训读

一个: 一つ(ひとつ)	六个: 六つ(むっつ)
两个: 二つ(ふたつ)	七个: 七つ(ななつ)
三个: 三つ(みっつ)	八个: 八つ(やっつ)
四个: 四つ(よっつ)	九个: 九つ(このつ)
五个: 五つ(いつつ)	十个: 十(とお)

(2) 音读

一(いち)	九(く、きゅう)
二(に)	十(じゅう)
三(さん)	十一(じゅういち)
四(し、よん、よ)	二十(にじゅう)
五(ご)	百(ひゃく)
六(ろく)	千(せん)
七(しち、なな)	万(まん)
八(はち)	億(おく)

要注意在表示百和千时,有时会发生促音或浊化,一百和一千可如下所示,直接说成「ひゃく」和「せん」。四、七和九有两三种说法,其中「し」「しち」属于音读,「よん、よ」「なな」属于训读。「く」「きゅう」均为音读,前者系吴音后者为汉音。吴音源于古代中国江南方言,汉音则为长安一带的读音。

一百(ひゃく)	一千(せん)
二百(にひゃく)	二千(にせん)
三百(さんびゃく)	三千(さんぜん)
四百(よんひゃく)	四千(よんせん)
五百(ごひゃく)	五千(ごせん)
六百(ろっぴゃく)	六千(ろくせん)
七百(ななひゃく)	七千(ななせん)
八百(はっぴゃく)	八千(はっせん)
九百(きゅうひゃく)	一億(いちおく)

2. 助数词

助数词在日语中相当丰富,同现代汉语中的量词一样,因修饰的对象物体不同而异。

一楼: 一階(いっかい)	二楼: 二階(にかい)
三楼: 三階(さんかい)	四楼: 四階(よんかい)
五楼: 五階(ごかい)	六楼: 六階(ろっかい)
七楼: 七階(ななかい、しちかい)	八楼: 八階(はっかい、はちかい)
九楼: 九階(きゅうかい)	十楼: 十階(じゅうかい、じっかい)

表达人数与时间等时,除了一人和两人外,其他可按照音读规则组合。在表示一点或一段时间时,完全可以按照音读规则组合。

(1) 表示人数

一人(ひとり)	六人(ろくにん)
二人(ふたり)	七人(ななにん、しちにん)
三人(さんにん)	八人(はちにん)
四人(よにん)	九人(きゅうにん、くにん)
五人(ごにん)	十人(じゅうにん)

(2) 表示一点时间

一点: 一時(いちじ)	七点: 七時(しちじ)
两点: 二時(にじ)	八点: 八時(はちじ)
三点: 三時(さんじ)	九点: 九時(くじ)
四点: 四時(よじ)	十点: 十時(じゅうじ)
五点: 五時(ごじ)	十一点: 十一時(じゅういちじ)
六点: 六時(ろくじ)	十二点: 十二時(じゅうにじ)

一分: 一分(いっぷん)	七分: 七分(ななぶん)
两分: 二分(にぶん)	八分: 八分(はっぶん)
三分: 三分(さんぶん)	九分: 九分(きゅうぶん)
四分: 四分(よんぶん)	十分: 十分(じっぶん)
五分: 五分(ごぶん)	十一分: 十一分(じゅういっぶん)
六分: 六分(ろっぶん)	十二分: 十二分(じゅうにぶん)

(3) 一段时间

一時間(いちじかん)	七時間(しちじかん)
二時間(にじかん)	八時間(はちじかん)
三時間(さんじかん)	九時間(くじかん)
四時間(よじかん)	十時間(じゅうじかん)
五時間(ごじかん)	十一時間(じゅういちじかん)
六時間(ろくじかん)	十二時間(じゅうにじかん)

(四) 形式体言

形式体言在句中起体言的作用,但没有或很少有实质意义,也有称为“形式名词”。形式体言在使用时,要跟在实质意义的连体修饰语后面。同时,某些具有实质意义的词组要在句中起到体言作用,往往必须借助于形式体言。因此,形式体言虽然不具备实质意义,但是具有重要的语法作用。正如「山^{やま}にひとりで行くことは危険^{きけん}だ/单独一个人上山是危险的」所示,把前面的叙述「山^{やま}にひとりで行く」连成名词句时,这样的「こと」就是形式名词。也有时像「山^{やま}にひとりで行くのは危険^{きけん}だ」那样,可用「の」来替换。有时用于句末,表示各种判断方式或措词态度。除了来自格助词「の」的转化之外,形式体言均来源于名词。其中大多数同实质名词共存,少数如「ま^ま」「は^ず」「た^め」等,在句子中主要用作形式体言。形式体言有「こと、もの、ところ、の、わけ、はず、ため、つもり、ほう、ま^ま、と^おり、う^え、う^ち、も^と、か^ぎり、か^わり、し^だい、く^せ」等,以下介绍最常用一些形式体言。

1. こと【事】

(1) 原意为表示有关事情。

- ことをこのむ。/好事。
- ことをおこす。/肇事。
- ことのおこり。/事件的起因。
- こともなげに。/若无其事地。
- こともあろうに。/偏偏会这样。
- ことによると。/根据情况或许。
- ことをわけて話^{はな}す。/把事情分开讲。
- ほと^{こと}の事^{しんぱい}は心配するな。/不要担心我。
- こととし^だいによ^つては。/根据事实和经过。